

2011年夏OPEN!

ひと・まち・情報 創造館  
**武蔵野プレイス**

人と人が出会う場  
人と本が出会う場



発行 平成22年7月  
武蔵野市教育委員会教育部 武蔵野プレイス開設準備室  
〒180-8777 武蔵野市緑町2丁目2番28号  
TEL 0422-51-5131(代表)

このブックレットは、無塩素漂白パルプ紙を使用しています。

武蔵野市

## 武蔵野プレイスとは

『武蔵野市立ひと・まち・情報 創造館 武蔵野プレイス』（以下「武蔵野プレイス」）は、図書館を中心として「生涯学習支援」「市民活動支援」「青少年活動支援」等の機能を併せ持った施設です。

武蔵野プレイスは、人々の交流が自然に生み出される「場」を提供し続けることにより、生活、文化、芸術、自然、歴史、まちづくり、ボランティア活動、市民活動、生涯学習、福祉、教育などといった横断的な活動やネットワークの活性化を促します。

多様な人々がそれぞれの活動を通して時間を共有する快適な空間（場）は、地域社会の魅力を高めることに寄与します。

『場』=「プレイス」ということばには、このような期待が込められています。

### 施設名称について

武蔵野プレイスは、図書館、生涯学習センター、市民活動センター、青少年センターといった、各々が単立したこれまでの公共施設の類型を超えて、複数の機能を積極的に融合させる施設です。図書や活動を通して、人と人が出会い、それぞれが持っている情報（知識や経験）を共有・交換しながら、知的な創造や交流を生み出し、地域社会（まち）の活性化を深められるような活動支援型の公共施設をめざして、『ひと・まち・情報 創造館 武蔵野プレイス』と名付けられました。

### ロゴについて

プレイス（place）の“P”をデザインのベースとし、人々が活動するための自由な場（＝プレイス）を提供するという施設理念を示すとともに、のびやかでゆったりとした曲線により、建物や公園のイメージを表現しています。また葉っぱが芽吹くようなかたちとすることによって、プレイスの中で人々の想いやアイデアが次々と生まれ、新しい活動が育まれていくという期待を込めています。落ち着いた青色は、青い空、大らかさ、安らぎ、エコ、柔らかさ等をイメージさせるものとして選定しました。



## 4つの機能の連携と融合

武蔵野プレイスは、4つの機能が互いに刺激し合うことで各機能が積極的に連携・融合し、結果として、多様で異なる活動が出合い交錯する「場」が創り出される環境を提供します。

4つの機能が積極的に連携・融合し合うようなオープンで多様なコミュニケーションの「場」は、人とひとを結びつけ創造や対話の可能性を広げていくことにつながります。

施設の基幹機能として他の機能と連携を図り、さまざまなライフステージに対応した滞在型図書館をめざします。

- ・図書資料の充実
- ・図書配置方法等資料情報活用の工夫
- ・図書閲覧環境の確保
- ・雑誌タイトル数の充実
- ・オンラインデータベースサービス
- ・障害者サービスの充実
- ・図書館サポーター（ボランティア等）との協働

市民活動に携わる人々が互いの立場や考え方を尊重しながら交流し、開かれたネットワークを形成することを支援します。

- ・市民活動に関わる情報の収集・提供・蓄積・編集・発信
- ・市民活動団体相互の交流を促進するためのネットワーク機能
- ・団体の経営やマネジメントに関する支援
- ・組織の運営の仕方等についての相談・コンサルティング機能



市民活動支援機能

## 生涯学習支援機能



市民相互の連携を促し、地域の教育機関、企業、施設と連携した、柔軟な生涯学習事業を展開し、生涯学習活動を支援します。

- ・コンソーシアム型（外部団体等との連携）事業の実施
- ・武蔵野地域自由大学の運営
- ・地域社会に還元される講座等の実施
- ・情報交換の場や情報の提供
- ・「武蔵野市地域映像アーカイブシステム」の構築



図書館機能

利用しやすく、さまざまな過ごし方ができる場を設定し、青少年が活動を通して社会とのかかわりを持つことができるように支援します。

- ・情報交換の場や情報の提供
- ・講習・ワークショップ等の開催
- ・利用者運営委員会の活動支援

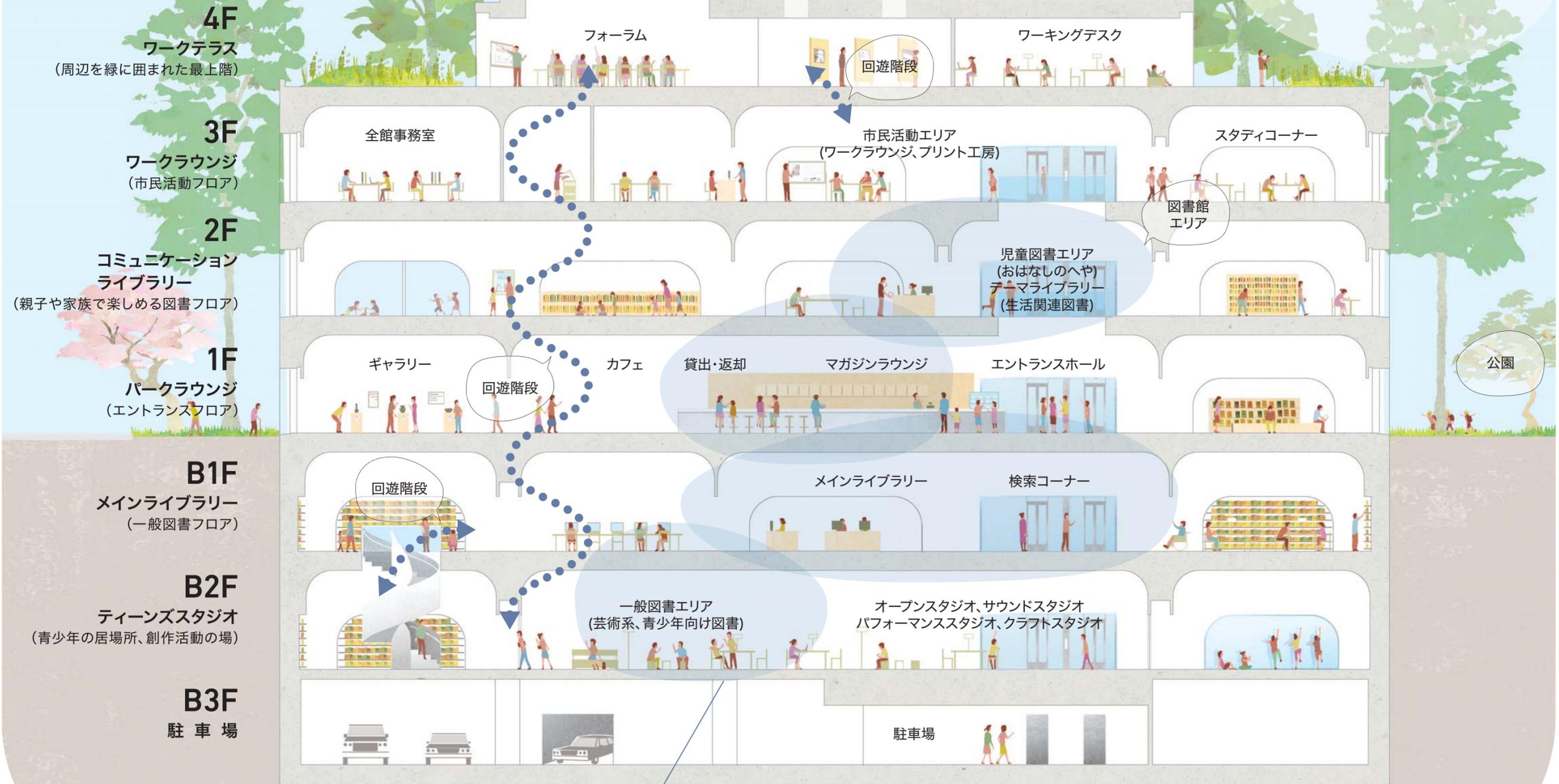


青少年活動支援機能

# 武蔵野プレイス フロア構成

## 環境への配慮

- ・屋上をほぼ100%緑化
- ・建物半分を地下にすることで熱負荷を軽減
- ・雨水利用
- ・身体にやさしい快適な輻射冷暖房
- ・水蓄熱深夜電力利用



図書館機能は施設の基幹機能として他の機能と連携を図ります

## B2F ティーンズスタジオ

青少年が気軽に利用できるフリースペースや自主的な創作活動を支援するための各種スタジオ等を設置しています。また、芸術系や青少年向けの図書コーナーを設けています。

### 01 アート&ティーンズライブラリー

芸術系や主に青少年向けの図書を合わせて約15,000冊を配置しています。

### 02 スタジオラウンジ

青少年が気軽に立ち寄り利用できる自由なオープンスペースです。

### 03 オープンスタジオ

軽い運動が可能なスペースです。

### 04 サウンドスタジオ

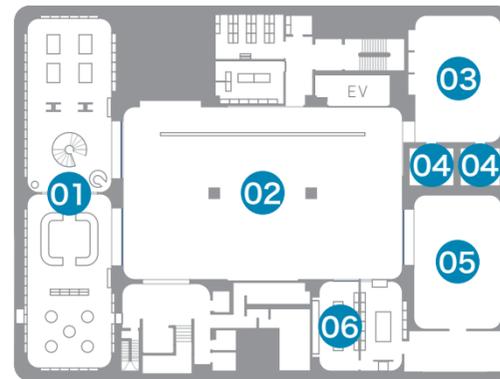
楽器演奏の練習ができる防音スペースです。

### 05 パフォーマンススタジオ

ダンス、演劇等の練習ができる準防音のスペースです。

### 06 クラフトスタジオ

美術や工芸等のものづくりのためのスペースです。



スタジオラウンジ

地階という特性を生かして壁面書架を採用することで、本に囲まれた落ち着いた空間を確保するとともに閲覧席の充実にも努めています。フロアの四隅の吹抜から自然光を採り込み快適な環境を確保しています。約75,000冊の一般図書及び約200誌の雑誌のバックナンバーを配置しています。

### 07 サーチバー

オンラインデータベースサービスを利用して、新聞記事等の情報検索が行えます。

### 08 レファレンスカウンター

本や資料に関する相談を受け付けます。

### 09 録音室

主に視覚障害者に対する録音資料を作成します。



## メインライブラリー B1F



メインライブラリー

### 10 予約資料貸出コーナー、新着・返却資料棚

予約資料貸出コーナーでは、予約者自身が自動貸出機で図書等の貸出処理を行うことができます。新着・返却資料棚では、新規購入及び当日返却された資料が配され、利便性を高めます。

### 11 ギャラリー

簡易な展示発表やワークショップ等が行えるセミオープンな多目的イベントスペースです。

### 12 カフェ

新しいコミュニケーションの場として飲物や軽食を提供します。

### 13 マガジンラウンジ

約580誌の雑誌の最新号と新聞30紙を配置しています。

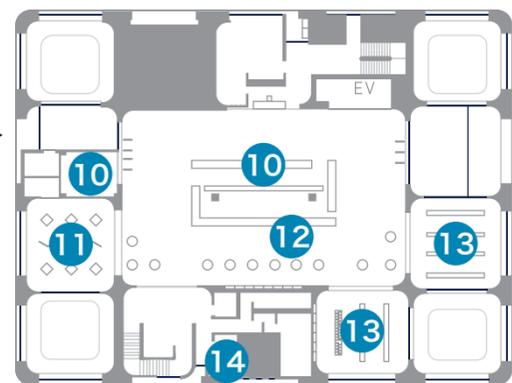
### 14 対面朗読室

主に視覚障害者に対し、図書館所蔵資料等を対面朗読するサービスを行います。

## 1F パークラウンジ

境南ふれあい広場公園と境南通り側の2ヶ所に出入口を持つ館全体のエントランス階です。フロア中央の大きなオープンスペースに、ICタグを利用した自動貸出機やOPAC、新着・返却資料棚を集中設置しています。

\* OPAC(Online Public Access Catalog)  
: 蔵書目録検索システム



マガジンラウンジ



子どもライブラリー

### 15 子どもライブラリー

主に乳幼児から小学校高学年までを対象にした絵本、紙芝居を含む児童図書を約30,000冊と児童向け雑誌20誌を配置しています。

### 16 おはなしのへや、託児コーナー

子どもたちが靴を脱いで自由に本を読んだり、遊んだりすることができます。授乳室や幼児用トイレを併設しています。

### 17 テーマライブラリー

料理・健康・子育てといったテーマごとに、日常生活に関連する図書約25,000冊を配置します。

### 18 サポーターズルーム

館の活動を支援するボランティア等のスペースです。

生活に関連した図書をテーマごとにまとめた「テーマライブラリー」と児童向けの図書を配置した「子どもライブラリー」のほか、親子や家族でいっしょに読書等を楽しめるスペースを用意しています。



## コミュニケーションライブラリー 2F

### 19 市民活動カウンター

市民活動に必要な情報提供や相談、会議室等の貸し出しを行います。

### 20 ワークラウンジ

少人数でのミーティングや資料作成作業等ができる市民活動団体向けのオープンスペースです。

### 21 情報ラウンジ

市民活動団体に関する情報や団体の紹介ファイルのほか、市民活動団体のためのロッカー等を設置します。

### 22 スタディコーナー

来館者が個人で読書や調べものができる学習スペースです。

### 23 スペース

用途に合わせて利用できる、大きさが異なる5つの会議室(10~40人程度)があります。

### 24 プリント工房

市民活動団体が活動に伴うチラシや資料を作成することができるよう、コピー機、印刷機、裁断機、紙折り機等を設置します。

## 3F ワークラウンジ

NPO等の市民活動団体のサービスステーションとして気軽に立ち寄ることができ、打ち合わせや、情報収集、相談、印刷などの作業を集中的に行えるフロアです。さまざまな用途に利用できる会議室、個人で利用できるスタディコーナーも設置しています。



ワークラウンジ

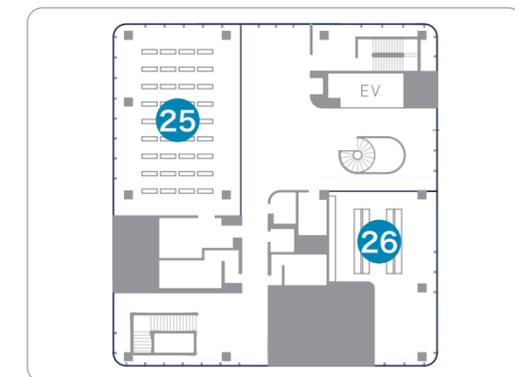
屋上庭園やデッキがある開放的なフロアに、生涯学習や市民・文化活動のための講座・講演、ワークショップ等が開催可能な「フォーラム」、個人が自由な発想で利用できる書斎的スペースの「ワーキングデスク」を設置しています。

### 25 フォーラム

最大約200人(椅子のみ使用時)で、会議、講座・講演等多目的に利用できます。2室に分割が可能です。

### 26 ワーキングデスク

静かな環境を提供する40席程度の個人の書斎的スペースです。



## ワークテラス 4F



フォーラム

## 事業経過

昭和 48 年度：東京食糧事務所に農水省食糧倉庫跡地払い下げの要望書を提出。

昭和 57 年度：東京都知事に「東京都長期計画に対する要望書」を提出。

平成 2 年度：倉庫が解体され、更地になる。

平成 3 年度：市議会全員協議会開催。食糧庁に対して、市として跡地買受を要望。

平成 9 年度：市議会全員協議会開催。市議会農水省跡地利用計画検討特別委員会設置。

平成 10 年度：食糧庁に「武蔵境食糧倉庫跡地利用計画」を提出。跡地取得が完了。

平成 11 年度：「武蔵野市中心市街地活性化基本計画」を策定。

平成 12 年度：「新公共施設基本計画策定委員会」を設置。

平成 13 年度：「市第三期長期計画第二次調整計画」において、「武蔵境のまちづくりの推進」の一環として、「武蔵境の地区図書館をはじめとした、知・文化・自然・青少年をテーマとする文化施設の建設を進める」として施設を位置付け。

平成 15 年度：武蔵境新公共施設設計プロポーザルを実施。

平成 16 年度：「農水省跡地利用施設建設基本計画策定委員会」を設置。

平成 17 年度：「市第四期基本構想・長期計画」において、「知的創造拠点として図書館機能を中心とした『新公共施設』を建設し、多世代にわたる利用と広域的な市民活動の場とする」として施設の整備を位置付け。

平成 18 年度：「武蔵野プレイス（仮称）専門家会議」を設置。

平成 19 年度：「武蔵野プレイス（仮称）管理運営基本方針」を策定。

平成 20 年度：「市第四期長期計画・調整計画」においてこの地域のまちづくりの核として施設を位置付け。施設名称を公募、「武蔵野市立ひと・まち・情報創造館 武蔵野プレイス」と決定。

平成 21 年 1 月：建設工事着手。

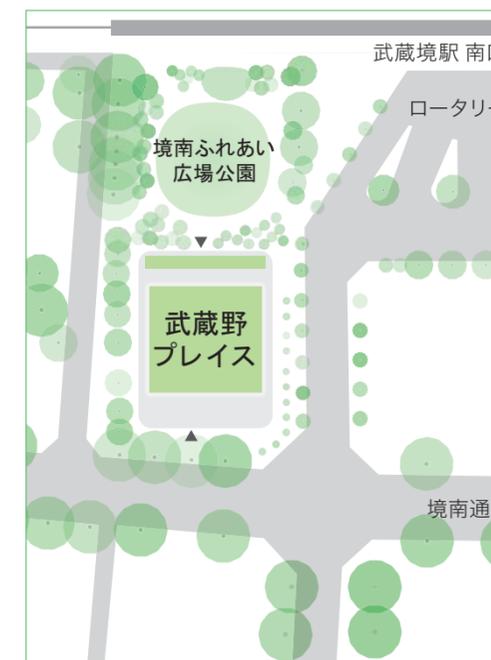
平成 21 年度：「ひと・まち・情報創造館 武蔵野プレイス管理運営指針」を策定。

平成 22 年度：「武蔵野市立武蔵野プレイス条例」制定。

平成 23 年：1 月末竣工（予定）

平成 23 年度：オープン（7 月予定）

## 周辺情報



## 施設概要

所在地	武蔵野市境南町 2 丁目 3 番 18 号
敷地面積	2,166.20 m <sup>2</sup>
建築面積	1,571.47 m <sup>2</sup>
延床面積	9,809.76 m <sup>2</sup>
階数	地上 4 階・地下 3 階
最高高さ	GL +19.900m
構造	SRC 造、RC 造
設計	有限会社 kwhg アーキテクト
開館時間	9:30 ~ 22:00
休館日	水曜日（毎月第 3 水曜日及び 1 月の第 1 水曜日を除く）及び 毎月第 3 金曜日、年末年始、図書特別整理日